

第3節

現状(ダム・河道整備状況)で大雨
が降ったときに想定される洪水量

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

- 整備計画の基準となる洪水型
＝昭和28年9月型
- 既往の洪水のうち被害が最大であった
- 現在襲来した場合に最大の流量となる洪水

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

■ 昭和28年9月洪水 被害の状況



野洲川南流左岸（洲本地先）の破堤による浸水

1. 降雨量と流量との関係

1.1 基準となる洪水の選定

■ 洪水毎の地点別流量一覧表

洪水名	実績総雨量 (mm) (野洲地点)	想定される流量(m ³ /s)
		野洲川(野洲)
昭和28年 9月型(台風13号)	304	3,100
昭和33年 8月型(台風17号)	259	2,000
昭和34年 8月型(台風 7号)	354	2,600
昭和34年 9月型 (台風15号;伊勢湾台風)	383	2,800
昭和40年 9月型(台風24号)	237	3,000
昭和46年 8月型(台風23号)	251	2,100
昭和47年 9月型(台風20号)	227	2,400
平成 2年 9月型(台風19号)	233	2,300

昭和28年9月型が最大となる

1. 降雨量と流量との関係

1.2 流域平均雨量と流量

■ 流域平均雨量とは

地点雨量とは、地上観測しているその地点の降雨量

解 析

1. 算術平均法
2. ティーセン法
3. 等雨量線法
4. 代表係数法

流域平均雨量とは、地点雨量を流域全体で平均した降雨量

1. 降雨量と流量との関係

1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係

雨量から流量への変換

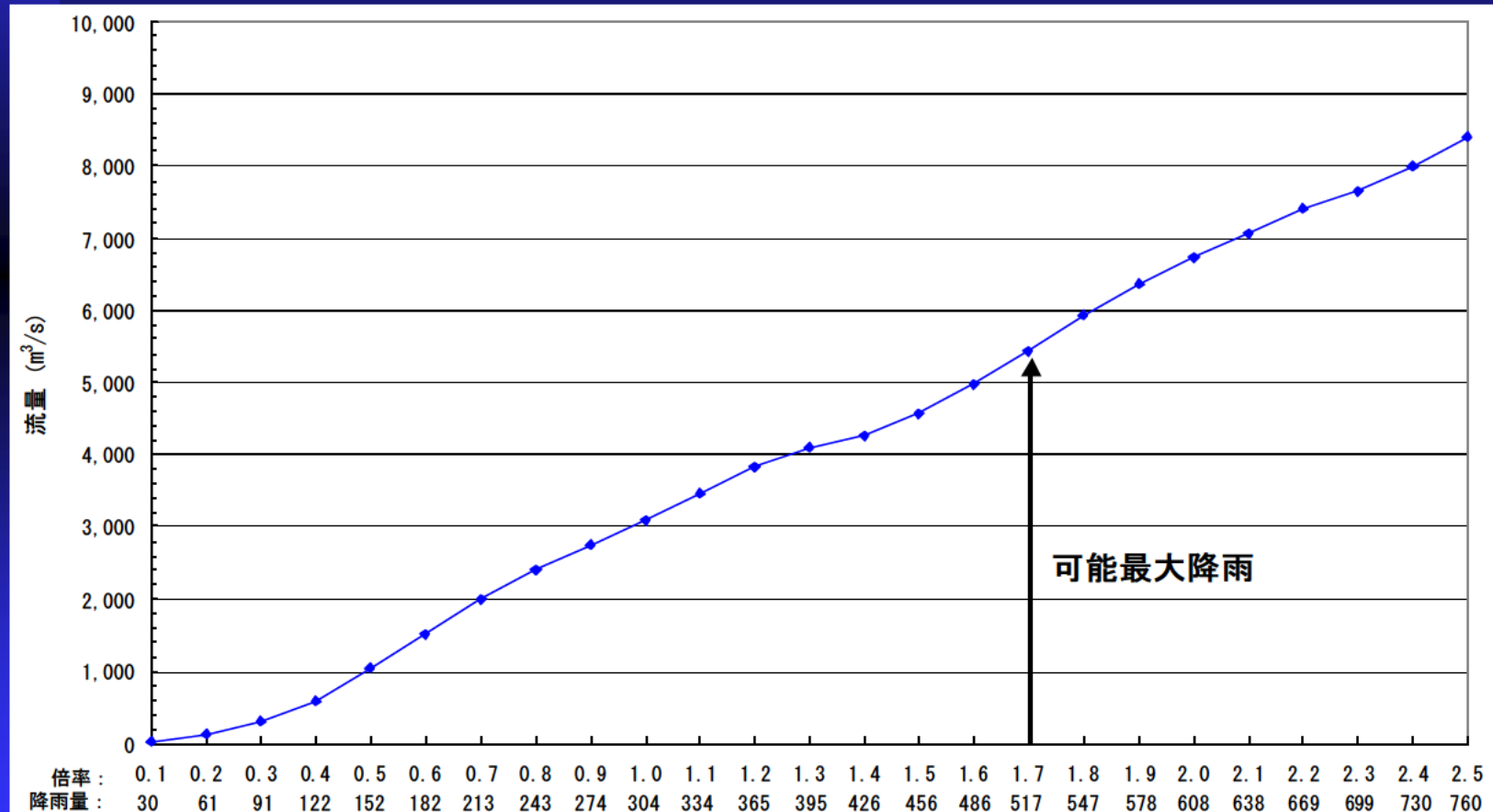
- ◆青土ダムは現在の操作方法
- ◆河道(川の中で洪水を流すことのできる部分)は現時点の状態を想定
- ◆上流部河道で氾濫するため下流に流下する流量は減少する

1. 降雨量と流量との関係

1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係

■ 野洲地点(8.0km付近)

昭和28年9月型



- ・上流ダム群現行操作
- ・上流河道の氾濫あり

1. 降雨量と流量との関係

1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係

■ 可能最大降雨

過去に起こった近畿地方の降雨量から、各地域において最大限、降る可能性のある降雨量の目安を推定したもの